

# かしま 議会だより



第94号

平成30年9月議会号

平成30年11月発行

発行／鹿島市議会 編集／議会だより編集委員会  
〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1 TEL63-2104 FAX63-2314



子ども議会(平成30年8月24日)

9月定例会	P2～P3
議案審議	P4
一般質問	P5～P9
子ども議会	P9
委員会報告・討論	P10～P11
行政視察報告	P12～P13
委員長報告	P14
討論・意見書・議会のわだい	P15
議会あれこれ・編集後記	P16



平成30年 鹿島市議会  
9月定例会会期日程

1、会期  
自 平成30年9月10日  
至 平成30年10月10日

2、日程

【9月】

10日 開会  
・会議録署名議員の指名  
・会期の決定  
・議案の二括上程  
・議案の一括上程  
（市長の提案理由説明）

11日 休会（議案研究）  
（一般質問発言内容通告締切）

12日 休会（議案研究）

13日 決算説明、議案審議、  
委員会付託、質疑、  
討論、採決

14日 議案審議、  
委員会付託、  
質疑、討論、採決

15日 休会

16日 休会

17日 休会

18日 休会（議案整理）

19日 常任委員会  
（新規条例審査、請願審査）

20日 休会（議案整理）

21日 決算審査特別委員会  
（開会・概要説明・監査委  
員報告現地調査）

22日 休会

23日 休会

24日 休会

25日 決算審査特別委員会

（一般会計 文教厚生産業  
常任委員会所管分）

26日 休会（議案整理）

27日 決算審査特別委員会  
（一般会計 総務建設環境  
常任委員会所管分）

28日 決算審査特別委員会  
（特別会計・水道事業会  
計・討論・採決）

29日 休会

30日 休会

【10月】

1日 一般質問（3名）

2日 一般質問（3名）

3日 休会（議案整理）

4日 一般質問（3名）

5日 常任委員会  
（新規条例審査）

6日 休会

7日 休会

8日 休会

9日 休会（議案整理）

10日 委員会報告、議案審議  
・質疑、討論、採決  
・閉会

平成30年 鹿島市議会  
9月定例会会期日程

1、会期  
自 平成30年9月10日  
至 平成30年10月10日

2、日程

【9月】

10日 開会  
・会議録署名議員の指名  
・会期の決定  
・議案の二括上程  
・議案の一括上程  
（市長の提案理由説明）

11日 休会（議案研究）  
（一般質問発言内容通告締切）

12日 休会（議案研究）

13日 決算説明、議案審議、  
委員会付託、質疑、  
討論、採決

14日 議案審議、  
委員会付託、  
質疑、討論、採決

15日 休会

16日 休会

17日 休会

18日 休会（議案整理）

19日 常任委員会  
（新規条例審査、請願審査）

20日 休会（議案整理）

21日 決算審査特別委員会  
（開会・概要説明・監査委  
員報告現地調査）

22日 休会

23日 休会

24日 休会

25日 決算審査特別委員会

（一般会計 文教厚生産業  
常任委員会所管分）

26日 休会（議案整理）

27日 決算審査特別委員会  
（一般会計 総務建設環境  
常任委員会所管分）

28日 決算審査特別委員会  
（特別会計・水道事業会  
計・討論・採決）

29日 休会

30日 休会

【10月】

1日 一般質問（3名）

2日 一般質問（3名）

3日 休会（議案整理）

4日 一般質問（3名）

5日 常任委員会  
（新規条例審査）

6日 休会

7日 休会

8日 休会

9日 休会（議案整理）

10日 委員会報告、議案審議  
・質疑、討論、採決  
・閉会

# 次のことを審議し決定しました

【9月定例会】

議案番号	議案内容	杉原元博	片淵清次郎	樋口作二	中村和典	松田義太	稲富雅和	勝屋弘貞	伊東茂	松本末治	光武学	徳村博紀	福井正	松尾征子	角田一美	松尾勝利	採決結果
議案第32号	平成29年度鹿島市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数 認定
議案第33号	平成29年度鹿島市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	×	○	同上	賛成多数 認定
議案第34号	平成29年度鹿島市谷田工場団地造成・分譲事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	×	○	同上	賛成多数 認定
議案第35号	平成29年度鹿島市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	×	○	同上	賛成多数 認定
議案第36号	平成29年度鹿島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	×	○	同上	賛成多数 認定
議案第37号	平成29年度鹿島市給与管理特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	×	○	同上	賛成多数 認定
議案第38号	平成29年度鹿島市水道事業会計決算認定について	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	×	○	同上	賛成多数 認定
議案第39号	鹿島市干潟交流館設置条例の制定について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成多数 一部修正可決
議案第40号	鹿島市議会議員及び鹿島市長の選挙における選挙運動用自動車の使用及びポスター等の作成の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 可決
議案第41号	鹿島市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 可決
議案第42号	平成30年度鹿島市一般会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 可決
議案第43号	平成30年度鹿島市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 可決
議案第44号	平成30年度鹿島市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 可決
議案第45号	鹿島市教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 可決
議案第46号	鹿島市中村住宅整備事業の事業契約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	同上	賛成多数 可決
請願第2号	下水道施設の改築への国費支援の継続に関する意見書採択の請願について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 採択
請願第3号	自衛隊オスプレイ受け入れ合意の撤回を求める意見書採択の請願について	×	×	×	×	×	×	×	×	欠	×	×	×	○	×	同上	賛成少数 不採択
意見書第2号	下水道施設の改築への国費支援の継続に関する意見(案)について	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 可決
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦について一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 適任

○…賛成 ×…反対 退…退席 欠…欠席 ※…(監査委員のため審議に参加できない)



議案 審議

# 議案 審議

議案第32号

平成29年度一般会計歳入歳出決算認定について(大綱質疑)



伊東 茂議員

質問 市税の収入額は前年度に比べ2・5%増加している。個人市民税は

前年度を上回り、収入の伸びが見られるが法人税収入は減少している。市内の経済状況を計る上で本日の景気は上向きなのか判断が難しい。担当課の見解を問う。

答弁 個人市民税の納税増加は所得の増加が要因

と考える。法人税の減少は分析が難しい。設備投資も増えていない現状を考えると今後も注視していきたい。

質問 市債(借入)の発行は前年度と比べ減少したものの借入額は100億を超えている。今後の大型事業(市民会館建設)にも影響する。今後の運用について問う。

答弁 長期的な財政健全化を計り、市債発行は計画的に行う。

議案第42号

平成30年度一般会計補正予算「子育て総合相談センター」について



勝屋 弘貞議員

質問 今までも相談を受けたらしていたと思うが、これまでと大きく変わる点は。

答弁 母子手帳配布・乳幼児健診の折に保健センターの方で相談を受けていたが、このような妊産婦との接触の機会を利用し、きめ細やかに対応することで、悩みを抱える妊産婦を早期に発見し、児童虐待防止等につながる。

乳幼児期の情報の管理

を一元的に管理することが出来るようになり、身体等に問題がある乳幼児には、個々に合った支援プランを作成し対応するなど、支援が必要な場合には福祉・教育総務課といった関係部署と連携し継続して支援が出来る。



スマホ用子育てアプリ

議案第42号

平成30年度一般会計補正予算「給食センター厨房施設整備」について



松田 義太議員

質問 学校給食施設整備事業として、補正額1、800千円が計上されて

いる。近年、学校給食については、食の安全性、アレルギー対策等が求められている。市の給食センターは、建設から年数が経過し老朽化が目立つ。今後、新築を含め市はどのように考えているのか。

答弁 補正の内容は、食物アレルギー対策室増築工事である。しかし、今後、給食センターの老朽化は喫緊の課題である。財政面など厳しい状況であるが、新築も視野に検討したい。

議案第42号

平成30年度一般会計補正予算「地域経済循環創造事業交付金」について



稲富 雅和議員

質問 地域経済循環創造事業交付金については、素晴らしい交付金で、こ

れから大塚家、中岡家がリノベーションされていく予定だが、オープンしたらくさんのお客様に来て頂き、部屋に入ると一目でこの家の歴史が分かる様に年表看板等、例えば大塚家は木賃宿だとか、分かれば、宿泊しな

がら、楽しめると思うのが考えを聞く。  
答弁 大塚家は以前旅館であったのでまた戻る。中岡家は保存家屋であり古民家を活用するのが事業の重点ポイントなので、そういったところは公社に提案していきたい。

# 一般質問

## 鹿島市の熱中症対策について



福井 正 議員

質問一 最近の夏の暑さは、鹿島市でも38度上昇する等過酷な暑さである。鹿島市の小中学校のエアコン設置状況と今後の設置は。

答弁 小学校普通教室76

中2教室、特別教室84中24に設置。中学校は普通教室28中27、特別教室60中14教室に設置している。31年中に設置する計画だが、国のエアコン設置ブ

ロック対策の補正予算で採択されれば、31年夏までに設置したい。  
質問二 子供達の運動場使用中の熱中症対策は。

質問 浅浦分校は、明治6年開校で平成30年3月で閉校され144年の歴史に幕を閉じました。鹿島市議会地方創生対策特別委員会が視察した南島原市西有家町長野地区にあった、塔ノ坂分校は5年前に廃校になり、塔ノ坂地区の住民で、南島原食堂として再生、特色あるそうめん等を提供する飲食店として営業。従業員は地区のお母さんたち、標高500mの高地で道路も狭いという不利な条件だが、土日の営業で多数の観光客が訪れている。浅浦分校跡地でも、出来

ないか。鹿島市の考えは。  
答弁 ①市の行政財産の分校跡地はまず行政用に使用②公共団体や地元で使用③民間での使用の順で考える。現在庁内で議論している。

鹿島市のニューツーリズムの現状と取り組みについて  
質問 10市町村と研究会24団体で構成する、人吉球磨グリーンツーリズムでは18戸で農家民泊に取り組み、盛んに宣伝活動や誘客等に取り組みされている。鹿島市に1戸で「みんなの家」に取り組みされている。鹿島市でも県内の取り組みをされている方々との連携が必要ではないか。

答弁 鹿島市でもニューツーリズム研究会が組織され、炭焼き体験・農業漁業体験などに取り組ま

ヘルパー不足の早期解決を  
質問一 6月議会において、ヘルパー不足の問題について、不足の問題点が明らかになった。その後、市としてどんな取り組みをやったか。  
答弁 市内の介護状況把握のために、市内の事業所・ハローワークと情報交換をした。どの事業所も「職員確保」は難しいということ。  
☆訪問介護については、勤務形態の課題。☆訪問する家から家までの移動時間の問題。  
☆サービスが多岐にわたるために、ある程度の経験がなければ採用できない。  
☆施設によっては正職員に訪問サービスに当たらせることもあるが、採算

が合わない。採用でハローワークで募集をかけるが、集まらない。競争率が激しい。ハローワークとの情報交換では、☆かしま管内は景気が良く、就労条件のいいところに行く。29年度で介護は求人576件、全企業の10・6%、就労が25%、率は高いが離職率も高いと思われる。労働条件改善が必要。悪いイメージがある。事業所もいろいろ工夫されている。事業所から市に対しては「介護のイメージをよくしてもらいたい」との要求。負のイメージを変えないといけない。国の役割が大きいと思う。

### 国保税の引き下げを

質問一 「国保税が高く払えない」の声が多い。加入世帯の10%が滞納世帯。200万円以下の所得世帯で8・6%の滞納世帯。低所得者世帯には

減税措置があるというが、それでも滞納世帯はなくなりません。特に子育て世帯に対しては国保税の支出は重い。国保税の引き下げのため、18歳未満の均等割1人あたり2万5千円を廃止すること。対象者が何人いて、その財源の影響は。  
答弁 30年9月で被保険者が865人、医療費と後期高齢者を含め1890万8千円。



一般質問



一般質問

近年多発する大規模災害への備えについて



片瀨 清次郎 議員  
質問一 市内の土砂災害警戒区域を把握しているか。

答弁 急傾斜危険箇所が443か所、土石流危険箇所が81か所、地すべり危険箇所が2か所ある。県と協力し、地元説明会を実施している。また、ハザードマップで周知を行っている。

質問二 中木庭ダムの緊急放水時通報・連絡体制は。

答弁 県ダム事務所より雨量の増加に伴い、洪水警戒態勢、洪水調整開始、計画規模を超える洪水の事前通知、非常用洪水吐からの超流開始の順で連絡が入る。計画規模を超える洪水の事前通知を受ける。

け下流域へ避難勧告、避難指示を発令する。

質問三 高潮対策について。

答弁 高潮対策事業が遅れている河川がある。県と協議しながら進めていく。

質問四 鹿島市内の自主防災組織の活動状況は。

答弁 現在27組織あり、昨年度、初期消火訓練、避難訓練、炊き出し、情報伝達訓練を12組織で行った。リーダー研修で図上訓練等も行っている。また用具や資機材購入、防災マップ作成等に助成を行っている。災害に強い町になるために公民連携の強化を図りたい。

質問五 鹿島市地域防災計画の中に小中学校での防災訓練の実施を謳っているが、どんな訓練をやっているか。

答弁 主に防災、地震を想定した避難訓練を行っている。また、火災を起

こさないための講習や消防署の見学も行っている。救急講習についても、消防署より指導に来てもらい毎年毎に実施している。そして校長、教頭、管理職は防火管理者の資格を取得している。

質問六 受援体制について。

答弁 災害時には公共団体、民間団体と災害に関する協定を締結している。7月豪雨の際は、31か所の避難所運営に市職員が不足気味だったので、配備要員表の修正を考えている。



かしま防災サポーターズクラブ研修会

災害対策について



杉原 元博 議員  
質問一 7月の西日本豪雨での鹿島市内の避難者は270名だった。避難指示や避難勧告の基準は。

答弁 水害・土砂災害・高潮とに分かれる。それぞれに判断基準を設け、気象情報とを総合的に勘案して避難情報を発信している。

質問二 今回のような豪雨の際のポンプ場の作動について。

答弁 水路が一定の水位になると降雨量に関わらず起動する。西牟田・中牟田・中村・乙丸の4つのポンプ場が自動運転で、横田と南舟津は設置年が古く手動運転である。

質問三 受援体制のマニユアルはあるのか。  
答弁 受援計画はできて

いないが、大規模災害に備え、国が示すガイドラインを参考に県や社会福祉協議会等とすり合わせを行い体制整備に努め、マニュアル作成を行っている。

鹿島市民の健康長寿を考える

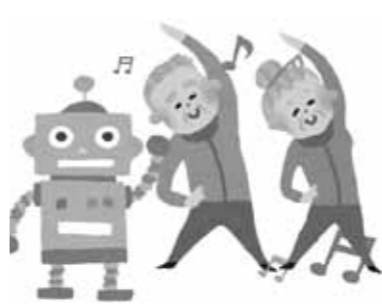
質問一 鹿島市健康体操の市民への周知は。

答弁 各教室等で披露、ケーブルテレビで放送、DVDやCDの無料配布、社会福祉協議会やボランティア団体と連携し周知を図っている。

質問二 がん検診の受診率向上対策は。

答弁 今までの取り組みに加え、病院での個別検診の拡充やHP、ケーブルテレビ、出前講座等で啓発を行っている。

質問三 重粒子線がん治療の保険適用について。  
答弁 本年4月から頭頸部・前立腺治療について、



公的保険適用が広がり、高額療養費制度が利用可能となった。

質問四 認知症カフェの開催状況について。

答弁 本年4月より介護者の集いと認知症カフェと一緒にオンラインカフェとして開催。9月までで3回実施。延べ31人参加。

質問五 糖尿病の重症化予防対策は。

答弁 特定健診受診率の向上。未受診者・治療中断者への働きかけ。かかりつけ医と専門医の連携。佐賀県糖尿病連携手帳の活用をしている。

地球温暖化と市民生活への影響について



樋口 作二 議員  
質問一 今夏の酷暑の間への影響は。

答弁 熱中症で救急車搬送された方は二十名で、そのうち一名が亡くなられた。

質問二 農作物への影響は。

答弁 一部作物に発育不良が見られたが、米やミカンなどは高品質で全体的に悪影響はあまりない。

質問三 社会生活への影響は。

答弁 夏休みの子どもたちの行事や地区の行事に大きな影響があり、行事の変更や中止を余儀なくされた。  
質問四 地球温暖化を防ぐための鹿島市の取り組みは。  
答弁 鹿島市環境基本計

一般質問

画の基本理念をもとに様々な取り組みを行っている。具体的には、ゴミ分別の徹底、生ゴミの堆肥化、マイバック持参運動などである。生ごみの堆肥化事業は、大字納富分地区全世帯に呼びかけ、バケツに生ゴミを入れてEM菌で発酵し、さらに業者者に依頼して堆肥化し、希望者に配布している。

質問五 世界の中には温暖化で土地がなくなるほどの影響を受けている国があるので、市民の意識を高める機会を増やしてほしい。

答弁 環境講演会や出前講座などを行い、意識を高めたい。

質問一 新民泊法による民泊の規定は。

答弁 本年六月に施行された住宅宿泊事業法により、トイレ、風呂などを備える一般家庭でも申請

地方創生とニューツーリズム

質問一 新民泊法による民泊の規定は。  
答弁 本年六月に施行された住宅宿泊事業法により、トイレ、風呂などを備える一般家庭でも申請



すれば、宿泊料を伴う宿泊が可能となった。

質問二 干潟体験に訪れる修学旅行生の民泊受け入れは可能か。

答弁 鹿島ニューツーリズム協議会を中心に、行政も関わって進めていきたい。

質問三 地方創生を進めるうえで、行政は市民力との関わりをどうとらえているか。  
答弁 鹿島市は、ガタリンピックや酒蔵ツーリズムの成功など市民力が高いと思う。今後も民の力を最大限に活かすことを優先し、必要であれば行政が前面に出て、鹿島市を活性化させたい。

鹿島市の直面している政策課題について



松田 義太 議員  
質問一 7月6日の集中豪雨時において、市内に設置している雨水ポンプ場は不具合なく稼働したのか。

答弁 中村、乙丸ポンプ場において、一部不具合が発生したが、すぐに処置をし運転に支障はなかった。

質問二 雨水（水害）対策上、ポンプ場と同様に水路の維持管理は重要である。管理は地域で行われていると思うので、区長さんをはじめ、地域との密接な連携、そして現状の水路の再点検をお願いしたい。

答弁 地域の方々の協力を得ながら、水路点検等

有明海再生について

質問一 漁業環境の改善のため三年間海底耕耘に取り組んでこられた。今後の対策として、漁場内の潮の流れの改善、有機物の分解、促進を図るための河川（塩田川・鹿島川）のしゅんせつ等に取り組み考えはあるのか。

答弁 市の単独事業では財政面を含め難しいと思うので、県・地元漁業と検討していきたい。

質問二 近年、ノリ養殖については、カモ被害が現場の問題になっているが市の取り組みは。

答弁 今年度において、「鹿島市海苔養殖カモ被害対策事業費補助金」を交付し、漁業、猟友会の協力を得ながら取り組んでいきたい。



冠水が見られる北公園周辺



一般質問

鹿島地域防災計画は想定外の災害に対応出来るのか



伊東 茂 議員

タイムライン(防災行動計画)策定の必要性

質問 ゲリラ豪雨・台風・地震と過去の経験と判断が及ばない昨今の現状で新たな防災計画として災害発生前から発生後まで時間軸をベースとして計画を策定するタイムラインの導入が必要ではないか。

答弁 防災対策は整備に限らずソフト面も、重要である。他の自治体でタイムライン策定により被害を抑えられた事例は聞いている。鹿島市も「何時・誰が・何を」行うか災害発生前から発生後までの行動計画を国・県との指針に沿うよう作成に着手していく。

東部中周辺の交通事故防止対策

質問 子ども議会で取り上げられた通学道路の危険性。東部中への登下校は徒歩・自転車・電車通学と様々である。学校周辺の道路は入り組んで見通しも悪く、道路は狭く危険である。安全対策に取り組んでいるのか。

答弁 東部中周辺の交通事故防止対策については長年の懸案事項である。水路に蓋をして歩道を確保し対応してきた。今後交通安全対策協議会を通じ地元や学校関係者と協議していく。

207号バイパスから野鳥地区への接続道路との事故多発の危険性について

質問 207号バイパスへ接続されている道路は4車線化に伴い出入りが困難になり更に危険性が増すと考えられる。信号



4車線化に伴い、出入りが困難になると予想される東部中学校入り口。地元からは信号機設置の要望が出されている。

諫早湾干拓問題について



稲富 雅和 議員

質問 業者の思いは裁判の当事者ではないが、有明海再生事業の継続、こまめな排水の確実な実施とマニュアル化、基金とは別枠での排水ポンプの増設、この3つがぜひ実現して欲しいと願っている項目だ。

7月30日の福岡高裁において確定判決に基づく開門命令を無効とするといった。長期化する法廷闘争が現場の混乱を招いていると言わざるを得ない。

そのような中これから市の基本姿勢を市長にお伺いする。

答弁 諫早干拓について言える事は3点。基本姿勢は変わらず、将来のことも考えて原因究明をし

て欲しい。開門調査をしてほしい事は変わらない。干拓の状況が動いている中、排水するならば可能な限り影響が避けられるような排水をして欲しい、その時は連携を取って欲しいと言いつつ引き続き情勢をふまえて対応して欲しい事を言い続けたい。

毎日毎日の潮の満ち引きしているなかで、いろんな方が操業されている。海の状況が改善する事を続けて欲しい。

国がいろんな形で事業をしてもらっている中で市の財政も肩入れをしていく。この3点に尽きると思う。

エアコンの設置について

質問 気温40度近い夏は「記録的」ではなく「当たり前前」となると言われている。今回避難場所となった学校の体育館。避難場所

としては環境が非常に厳しかったとの声もある中体育館等エアコン設置も必要でないか考えを聞く。



学校に設置されているエアコンの室外機。来年度、普通教室にはエアコンを設置する予定。

市有財産の今後の活用方針・方策について



角田 一美 議員

質問 ①旧浅浦分校は、閉鎖されたまま1年6ヶ月を過ぎようとしている。今後どう活用するのか。

答弁 行政での活用、次に地元又は公益団体、民間の順序で現在検討中。市内の集約を終え次のステップへ。現在、社会福祉施設、グループホームからの問い合わせがあっ

ている。活用者の思い、継続的な取組、地元の理解が必要であり、情報共有を図りながら進めていく。

質問 鹿島実業高校野球場は来年3月いっぱい返還されるが、どう活用するのか。

答弁 市内や地元との協議の中で今後野球場としての利用はないとのこ

とで、照明施設、防球ネット等の工作物については現状復帰をお願いしている。計画変更の場合は双方協議の上、来年度中に撤去して頂く。

現段階では、みんなが利用できる「地域の運動広場」としての活用を考えている。

質問 鹿島小学校前の横田堤は、県道の歩道拡張計画があり、来年度から用地買収に着手され、終了次第工事着手される予定。

横田堤の埋め立て活用方針は決まったのか。

答弁 ヘドロ堆積で土壌改良が必要で、費用対効果の観点から、そのまま現状渡しで売却し、定住促進等に寄与することの条件付きで売却する方針である。

市道大殿分伏原線の改修について

質問 蟻尾山運動公園から片山橋手前までは改



良工事が済んでいるが、片山橋から国道444号線までの280mが未整備のまま放置されている。片山橋出口付近は急カーブで見通しが悪く、幅員が狭いため双方から出合いがしらに遭遇し非常に危険である。国体開催に間に合うよう拡幅整備ができないか。

現地確認調査をし、危険性は把握している。

答弁 地元民からの要望を受け、道路法面の舗装や水路の蓋の整備等、地元と協議して、車両が離合できる幅員を確保するように整備計画に取り組んでいきたい。

子ども議会が開催されました

平成30年8月24日、中学生による子ども議会が市議会議場で開催されました。東部中学校と西部中学校の3年生14人が、1日市議会議員となって、議長や副議長、議員として、教育、道路、生活環境などの問題について質問や提言を、市長や部長、課長に対して行いました。模擬市議会を体験することで、自分たちの住んでいる鹿島の諸問題や未来について関心をより深めて、ふるさとの大切さや議会の仕組みを学び取ることができた、良い機会だったとのお礼の言葉が、子どもたちからありました。



「子ども議会」の本番前に、松尾議長から鹿島市議会についての説明を受けたり、議会の進め方などを議員から学ぶ中学生。子どもたちには貴重な体験となりました。これからの鹿島市を背負っていく人材へ成長することに期待したいと思います。



# 総務建設環境常任委員会報告

請願第2号 「下水道施設の改築への国費支援の継続に関する意見書採択の請願について」は、**全員賛成で採択**すべきものと決しました。

※15ページに意見書を掲載しています。

請願第3号 「自衛隊オスプレイ受け入れ合意の撤回を求める意見書採択の請願について」は、**賛成0人で不採択**とすることに決しました。

## ●審査の意見

新聞報道等によると、拙速ということは否めないところはあるが、合意をしたから即、前に進むということではなく、漁協との協議、これは漁への影響など、いろいろな調査をこれからやり、そのうえで合意に至るのかどうかと思う。市議会で国政レベルの話を論ずるのは好ましくない。それに国防が絡んでいる。

だが、事故が起きないように整備をしっかりとすること、高度300メートル以上で飛行するよう要望が必要。市議会としても関心を持っていることは示してもいいかと思う。今回のことを契機にこれから慎重に審議をしていくプロセスのひとつであると思う。今後とも慎重に審議してほしいということである。今回は県で審議されているので見守りたいということで不採択とする。

総務建設環境委員会

委員長:光武 学

副委員長:中村和典

委員:杉原元博・松田義太・松本末治・徳村博紀・福井 正・松尾勝利

# 文教厚生産業常任委員会報告

9月13日の本会議場において、文教厚生産業委員会に付託されました「議案第39号 鹿島市干潟交流館設置条例の制定について」、9月19日及び10月5日再審査の2日間にわたり、執行部担当者出席のもと審査を行いました。

委員は干潟交流館は重点「道の駅」に隣接した施設であり、また今後、市の観光拠点となる将来性の高い施設であるとの認識をもって審査を始めました。このことから、委員からは条例本文の審査だけでなく、施設の運営方法、今後の開館までのスケジュール、来館目標などの説明が求められました。委員協議会も開き、当日の説明資料では、十分に理解が出来る資料ではなかったため、再度説明を受け、再審査を行うことが適当との判断に至りました。

10月5日の再審査では、「道の駅」鹿島が整備された経緯、運営状況、干潟交流館の運営方針、来客目標、内部の構造などにわたり詳しい説明と資料をいただき審査いたしました。

採決の結果は、可否同数となり、鹿島市議会委員会条例第17条第1項の規定により委員長表決を行い、否決すべきものと決しました。

多くの議員は裁決時の可否判断について、賛否拮抗した審査の中で難しい判断をせざるを得ない採決となりましたことを申し添えます。

文教厚生委員会

委員長:稲富雅和

副委員長:勝屋弘貞

委員:片淵清次郎・樋口作二・伊東 茂・松尾征子・角田一美

## 議案第39号 反対討論

片淵 清次郎 議員

鹿島市干潟交流館設置条例の制定について

私は議案第39号について反対の立場で討論する。

理由は次の4つ。① 条例第1条には交流人口の増加及び本市観光の発展振興を図り、交流館を設置する。② 平成27年、国の「重点道の駅」として選定された。③ ガタリンピックも34回を数え、鹿島の名前を全国的にしている。④ 祐徳神社、肥前浜宿、ラムサール干潟と道の駅を結ぶ観光回遊ルートの構築。点から線へ、線から面への観光戦略の重点地区である。

以上の観点から、干潟交流館の隣にある「千葉市」の営業時間に合わせる必要があると思う。

## 議案第39号 賛成討論

樋口 作二 議員

干潟交流館の閉館時刻について

干潟交流館の閉館時刻については、執行部提案に賛成し、午後六時までの開館に次の理由で反対します。一、道の駅の来客者は、正午を中心とした時間帯に集中し、隣接する干潟展望館の来館者も夕方ほとんどなかったこと。二、千葉市は、午後六時まで開館しているが、これは地元の人々の要望で、地元の人々は午後五時以降に交流館を訪れるとは考えにくいこと。三、類似施設の閉館時刻は、どこも午後五時であること。四、閉館後の生体管理等の業務があり、職員の負担も大きく、残業手当、光熱費増で財政負担も大きくなること。

## 請願第3号 反対討論

福井 正 議員

自衛隊オスプレイ受け入れ合意の撤回を求める意見書採択の請願について

「自衛隊オスプレイ受け入れ合意の撤回を求める意見書採択」の請願について反対した。

佐賀県と国（防衛省）は平成26年7月に当時の古川知事に武田防衛副大臣のオスプレイ配備等の要請、小野寺防衛大臣を始め、九州防衛局との協議、5年間協議と議論された。

佐賀県議会「佐賀空港の自衛隊配備に関する決議」、佐賀市議会でも同じく決議された。100億円の着陸料は、有明海の再生にも使える。

「公害防止協定」に、自衛隊配備は「事前協議の対象」と記述。自衛隊使用は、漁協等と事前協議で協議される。過酷な訓練や低空飛行をさせなければ、事故を防げると思う。

## 請願第3号 賛成討論

松尾 征子 議員

自衛隊オスプレイ受け入れ合意の撤回を求める意見書採択の請願について

「佐賀のことは、佐賀で決める」と言って当選した知事。「オスプレイの佐賀空港配備」に合意した。「知事の独自受け入れは許せない」の声は新聞紙上でも報道されている。合意したといっても、漁業者や地元住民の理解は得られていない。

佐賀空港建設時に「公害防止協定」が結ばれ、自衛隊との協定では「自衛隊との共有はしない」とはっきり書かれている。これを無視することは出来ない。

慎重な態度をとってきた知事が「選挙の推薦ほしさ」に、佐賀県民を裏切ることには許せない。合意を取り下げて県民との協議をすること。

「議案第39号 鹿島市干潟交流館設置条例の制定について」に対する修正の動議が議員から提出され、下記の条文を修正のうえ、可決した。

修正案	原案
(開館時間) 第4条 干潟交流館の開館時間は、5月1日から10月31日までの期間を午前9時から午後6時まで、11月1日から4月30日までの期間を午前9時から午後5時までとする。ただし、市長が必要と認めるときはこれを変更することができる。	(開館時間) 第4条 干潟交流館の開館時間は、午前9時から午後5時まで _____とする。ただし、市長が必要と認めるときはこれを変更することができる。



## 議会運営委員会委員会 行政視察報告 平成30年8月28日～30日

8月28・29・30日の日程で北海道芽室町、石狩市、登別市の議会を訪問し、議会改革についての研修を行った。

### 8月28日 芽室町議会

芽室町議会は「わかりやすい議会、開かれた議会、行動する議会」として議会改革に取り組まれている。

#### 1 平成25年3月議会で、議会基本条例制定。条例制定後、

- ①条例の進行管理(自己評価・委員会評価・議会評価)
- ②議会における計画の重要性(議会活性化計画)
- ③条例点検・見直しの重要性(条例改正の協議)など、常に条例の改正に取り組まれている。



#### 2 議会運営方法の具現化

- ①住民に開かれた議会(情報公開・共有として議会だより・HP・報告会・意見交換会)
- ②分かりやすい議会として(具体性・タイムリー性として改革改善・技術向上)
- ③行動する議会としての委員会の活性化策として(調査・チェック・通年議会制度・議員間討議・政策提言)

町民に信頼される議会を目指されている。

#### 3 議会基本条例改正として

- ①政策提言する議会 ②住民参加を促進する議会 ③ICT化を進める議会
- ④議員間で討議する議会 ⑤災害時に向き合う議会 の取り組み。

広報広聴として、HPをほぼ毎日更新、議会フォーラム(議会報告と町民との意見交換会)の開催、団体別意見交換会の開催、高校生との意見交換会、政策提言機能強化として住民サポーターのアドバイスを受け提言を作成し、町に対して提言することに取り組まれている。

### 8月29日 石狩市議会

石狩市議会では平成28年9月議会からパソコンを議員に貸与し、議場や委員会室に持ち込み、議案などをUSBを介してパソコンに取り込み、議案審議などに活用されている。

パソコン導入でペーパーレスした書類は、①議案書②予算書・決算書と付随する資料③例月出納検査報告書・監査報告書。

議会資料として①意見書など議員発議議案、委員長報告(特別委員会、各常任委員会)冊子。

ペーパーレス化による削減経費は、印刷・製本にかかる人件費932,000円、消耗品404,000円、合計1,387,000円。委員会分の人件費40万円、消耗品20万円の計60万円。合計で1,987,000円の削減。

パソコン導入経費は35台分175,000円、コンセントなどの電源改修486,000円、USBメモリ66,000円。



### 8月30日 登別市議会

登別市議会は、平成8年ごろから議員会主催の研修会を毎年開催。議員自ら発行する「でいすかす」を発行。貸与したパソコンを議場に持ち込み、議場モニターに投影、市民からの意見をメールでやり取りするなど情報交換ができる。



議会運営委員会

委員長:福井 正 副委員長:徳村博紀

委員:伊東 茂・勝屋弘貞・稲富雅和

オブザーバー:角田一美(副議長)

## 地方創生特別委員会 行政視察報告 平成30年7月17日～19日

### 1,長崎県南島原市 南島原食堂

南島原市西有家町塔ノ坂地区は、戸数20戸ほどの限界集落だが、ここに廃校を利用して食堂が開設されている。メニューは「16種類の島原ソーメンセット」及び「母ちゃん定食セット」と少ないが、地元の食材を利用し、地元の人が手作りで提供する開館日は大人気で、大忙しとのこと。人口減、交流人口の拡大の大ヒットといえる。



### 2,熊本県天草市

#### 天草宝島物産公社、Ama - biz

天草宝島物産公社は、市が主導し、市の委託金で運営している任意団体で、地域産業に広く呼びかけ、全市をあげて物産品の収集、情報発信、販路の拡大などに当たっている。

Ama - bizは、天草市のビジネスをサポートし、予算は鹿島市の5倍強。スタッフは全国公募されたセンター長以下常勤4名。非常勤も数名。本渡中央商店街のメインストリートにあり、実績もうなぎのぼり。企業創業件数は100件に近づき、雇用者数も300名近くまで昇っている。



### 3,鹿児島県出水市 シティセールス課

出水市は、シティセールス課という独立した課を設けて地方創生対策に当たっている。移住定住への取り組みで、戸数30戸以内の地区への定住に手厚い補助金を出していることや農家民泊に積極的に取り組み、毎年修学旅行生3,000人ほどを受け入れているのは素晴らしい。

### 4,熊本県人吉市 グリーンツーリズム、人吉市きじ馬スタンプ協同組合

人吉市のグリーンツーリズムは、現在は球磨地方と連携して人吉・球磨グリーンツーリズム推進協議会として活動している。平成29年度は213名を受け入れ、うち19名は外国人と安定した活動を展開されている。人吉市きじ馬スタンプ協同組合は、寂れていく商店街を活性化しようと人吉ふれあい100円商店街を開催している。その取組の地域の盛り上げの現状と心意気を伺うことができた。

### 5,福岡県みやま市 道の駅みやま

道の駅みやまは、平成23年市の主導で開設され、順調に実績を積み上げ、平成29年度には買い上げ客数62万人、売上高9億8500万円を数えるまでになった。道の駅みやまの経常利益から毎年1,000万円ほどがみやま市に寄付されている。

地方創生特別委員会

委員長:樋口作二

副委員長:杉原元博

委員:松尾勝利(議長)・福井 正・光武 学・稲富雅和



議案第32号  
議案第33号～37号  
議案第38号

**賛成討論**

伊東 茂 議員

- ・平成29年度 鹿島市一般会計 歳入歳出決算 認定
- ・特別会計決算認定
- ・水道事業会計決算認定

一般会計歳入歳出後の実施収支額は238,945,522円の黒字決算である。企業誘致活動により鹿島市の得意分野である「ものづくり」が活性化され雇用促進の一助としても期待が持てる。一次産業支援についても、後継者不足の解決策を見いだしている。交流人口の増加については、インバウンド効果も着実に表れ、観光客増加に繋がっている。総体的に見て、財政力指数、実質収支比率も望ましい範囲である。

特別会計、水道事業決算についても各事業内容、決算内容は良好と判断でき、賛成である。

### 意見書第2号 下水道施設の改築への国費支援の継続に関する意見書

平成29年度に開催された財政制度等審議会において、下水道事業については、受益者負担の観点から、(汚水に係る下水道施設の改築については排出者が負担するべきとの考えの下、)国による支援は、未普及の解消及び雨水対策への重点化の方針が提示され、昨年12月22日、国土交通省から、下水道事業にかかる社会資本整備総合交付金等の予算配分の考え方として、「アクションプランに基づく下水道未普及対策事業」、「下水道事業計画に基づく雨水対策事業」等への重点化の方針が通知された。

仮に、下水道施設の改築への国費支援がなくなった場合、今後、人口減少が本格化する中、著しく高額な下水道使用料を徴収せざるを得なくなり、市民生活が成り立たなくなる。一方、下水道使用料の大幅な引き上げについて理解が得られず、施設の改築が進められなくなった場合、道路陥没や下水処理の機能停止によるトイレの使用停止など、市民生活に重大な影響が及ぶ恐れがある。

また、下水道は、地域からの汚水を排除することによって公衆衛生を確保するとともに、汚水を浄化・放流することによって公共用水域の水質を保全するなど、公共的役割がきわめて大きな事業であるが、この役割は、新設時も改築時も変わるものではない。

よって、国においては、市民生活の維持や下水道の公共的役割に対する国の責務の観点から、下水道施設の改築に対する国費支援を継続することを強く求める。

以上 地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成30年10月10日

佐賀県鹿島市議会

## 議員も先頭に!!ヤッサ!ヤッサ!!



恒例の鹿島おどりが8月3日、4日の2日間にわたり開催され、鹿島市議会も市民の皆さんと一緒に踊りました。

### 決算審査特別委員会委員長報告

去る9月13日の本会議において本委員会に付託されました議案第32号から議案第38号までの7議案につきまして、9月21日、25日、27日、28日の4日間にわたり決算審査特別委員会を開催した。



まず、21日に議案関係5カ所の現地調査を行った。  
①市民球場内野グラウンド改修工事およびバックスクリーン設置工事、②自然の館東屋(バーベキュー場)新築工事、③鹿島小学校校舎大規模改修工事、④古枝小学校校舎大規模改修工事、⑤古枝小学校放課後児童クラブ施設整備事業。

25日より市長、副市長、教育長、担当課職員出席のもと、審査に入った。

#### 企画財政課から平成29年度の決算状況と主要施策の成果説明

- 一般会計は、歳入143億8257万8千円、歳出140億5923万1千円、3億2334万7千円の黒字決算。
- 公共下水道事業特別会計は、歳入11億6235万4千円、歳出11億6030万4千円、205万円の黒字決算。
- 谷田工場団地造成・分譲事業特別会計は、歳入2600万8千円、歳出68万円、2532万8千円の黒字決算。
- 国民健康保険特別会計は、歳入45億6944万2千円、歳出45億2254万1千円、4690万1千円の黒字決算。
- 後期高齢者医療特別会計は、歳入3億9721万7千円、歳出3億9574万円、147万7千円の黒字決算。
- 給与管理特別会計は、歳入18億9280万4千円、支出額も同額。(前年度より1.9%の増加)
- 水道事業会計は、総収益5億4769万円、総費用4億4579万円、1億190万円の黒字決算。

#### 監査委員から7議案について一括して概要報告

「審査に付された歳入歳出決算書及び、附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、計数についても関係帳簿及び、証拠書類と照合の結果、適正に表示されていた。

また、予算の執行管理については、歳入の確保と歳出予算の効率的な執行に配慮しながら各種の施策が推進されており、各会計とも予算計上の趣旨に沿って適正に処理されていた。」と報告を受けた。

説明後、直ちに審査に入り、本委員会に付託された7議案に対し、各委員から多項目にわたる質疑があり、質疑終了後に討論、採決の結果、賛成多数で原案のとおり認定することに決した。

決算審査特別委員会委員長 中村和典

#### 決算審査特別委員会 日程

- 9月21日 午前10時開会、主要成果説明書の概要説明、決算審査の概要報告、現地調査箇所の事業概要説明。午後より現地調査5ヶ所。
- 9月25日 午前10時より終日。一般会計歳入歳出決算認定について質疑(文教厚生産業常任委員会所管分)
- 9月27日 午前10時より終日。一般会計歳入歳出決算認定について質疑(総務建設環境常任委員会所管分)
- 9月28日 午前10時より終日。特別会計5議案の一括質疑。水道事業会計の質疑。議案第32号から議案第38号の一括討論、採決。



# 議会あれこれ

(平成30年7月～10月10日)

## 7月

- 2日 議会だより編集委員会
- 12日 議会だより編集委員会
- 17日 議会だより編集委員会
- 17日～19日 地方創生対策特別委員会行政視察
- 20日 議会だより編集委員会
- 23日 杵藤地区広域市町村圏組合議会7月臨時会
- 24日 佐賀県西部広域環境組合議会臨時会
- 31日 知事・市町議会議長懇談会

## 8月

- 4日 鹿島おどり参加
- 8日 鹿島市子ども議会担当者会議
- 9日 佐賀県市議会議長会議員研修
- 20日 全員協議会
- 21日 鹿島・藤津地区衛生施設組合議会8月定例会  
杵藤地区広域市町村圏組合議会事前勉強会
- 23日 議会運営委員会  
鹿島市子ども議会リハーサル
- 24日 鹿島市子ども議会
- 27日 杵藤地区広域市町村圏組合議会8月定例会
- 28日～30日 議会運営委員会行政視察  
全員協議会
- 31日 総務建設環境委員協議会  
文教厚生産業委員協議会  
議会報告会プロジェクト

## 9月

- 6日 議会運営委員会
- 10日 9月定例会 開会 議案の上程(～10月10日)
- 13日 9月定例会 議案審議 質疑、討論、採決  
議会運営委員会
- 14日 全員協議会  
9月定例会 議案審議 質疑、討論、採決  
議会報告会プロジェクト
- 19日 総務建設環境委員会  
文教厚生産業委員会
- 21日 議会運営委員会  
決算審査特別委員会(現地調査)  
全員協議会  
文教厚生産業委員協議会

- 25日 決算審査特別委員会(一般会計)  
議会報告会プロジェクト
- 27日 決算審査特別委員会(一般会計)
- 28日 決算審査特別委員会(特別会計・水道事業会計)

## 10月

- 1日 9月定例会 一般質問
- 2日 9月定例会 一般質問  
議場開放・ICTプロジェクト  
議会報告会プロジェクト
- 4日 9月定例会 一般質問  
全員協議会  
総務建設環境委員協議会
- 5日 文教厚生産業委員会
- 9日 議会運営委員会
- 10日 全員協議会  
9月定例会 閉会  
文教厚生産業委員協議会

## 行政視察受入状況

(平成30年7月～9月)

7月4日 宮城県東松島市議会 8名

7月18日 石川県白山市議会 9名

7月25日 福井県高浜町議会 7名

8月20日 大分県中津市議会 10名

## 議長交際費を公表します。

金額単位：円

区分	7月		8月		9月		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
弔慰	0	0	0	0	1	21,600	1	21,600
見舞い	0	0	0	0	0	0	0	0
祝儀	1	3,000	1	5,000	1	5,000	3	13,000
会費	1	4,000	0	0	1	8,000	2	12,000
接遇	0	0	1	16,200	0	0	1	16,200
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	7,000	2	21,200	3	34,600	7	62,800

## 編集後記

10月は両常任委員会におきまして行政視察に赴きました。それぞれが所管するところでの自治体の取り組みを勉強してまいりましたが、そういった際、訪問先の議会だよりを資料として頂戴しますが、どこの議会のものも以前より随分と変わってきていて、自分たちの取り組みや考えを知って頂く為に、工夫を凝らし読みやすい紙面を心がけられているように思います。

今月の中頃、大牟田市議会が来鹿され、議会だよりについての視察を予定されています。先方の議会だよりをインターネットで拝見したところでは、考になるような話が出来るかどうか、また、外部からの視点で私どもの「かしま議会だより」がどう評価していただけなのか、楽しみでもありといったところです。

### 【編集委員】

委員長	勝屋 弘貞
副委員長	中村 和典
委員	徳村 博紀
顧問	角田 一美

※この議会だよりは、全て原稿提出者の責任により編集されています。